

令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	実習	単位数	3	学年	3	科	情報技術科
----	----	----	----	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

情報技術の分野に関する発展的・応用的な技術を実際の作業を通じて総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。主体的に課題を設定し、発展的、研究的な学習を実施するのに必要となる要素技術について、課題研究との連携の上に目的意識を持って取組めるよう指導する。

2、使用教科書・副教材

--

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	JavaScript ゲーム制作①	考查は行わない	15
	6月	JavaScript ゲーム制作②		
二学期	7月	第1 ローテーション (各実習内容を10人程度のグループに分け順に行う) ・Android アプリ① ・RaspberryPi① ・シーケンス制御① ・3D CAD 4	考查は行わない	42
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
三学期	12月	第2 ローテーション (各実習内容を10人程度のグループに分け順に行う) ・Android アプリ② ・RaspberryPi② ・シーケンス制御② ・アナログ回路	考查は行わない	33
	1月			
	2月			
	3月			

4、評価の方法

主体的な言語活動	対話型学習を軸に、発問や記述の両面で言語活動を行う。
関心・意欲・態度	授業態度、提出課題の取り組み方等、総合的に実習に取り組んだかを評価する。
思考・判断・表現	課題への取り組みや進め方に対して、個人で考え判断できるかを評価する。
観察・実験の技能	完成課題、実験結果のまとめに対して、正確性をみて判断する。
知識・理解	提出課題の正確性と記述内容、提出課題への取り組み方を評価する。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・各学習内容及び製作物が以後の専門教科学習へとつながっているものであるため、休んだ場合には、事由に関係なく早急に担当者へ申し出て補充を受けるものとする。
- ・週3時間を集中して実施し、効率的に取り組めるようにする。
- ・「コンピューターシステム技術」「課題研究」との関連のなかで、効果的・効率的に学習を展開する。
- ・課題やレポートの提出が期限より遅れた場合は、遅延課題を課す

